

平成31年2月12日
東北電力株式会社

女川原子力発電所2号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(確率論的リスク評価(PRA)地震PRA)

No	分類	項目	審査 会合日	回答
1	指摘 事項	新旧模擬地震波ターゲットスペクトルの違いが、建屋フラジリティ評価に与える影響について整理すること。	H30.6.7	・新旧の建屋フラジリティ評価用模擬地震波ターゲットスペクトルの更新に伴う建屋フラジリティの変更は、事故シーケンス評価への影響はないものの、地震ハザードとの整合性の観点から、建屋フラジリティ評価を地震PRAに反映した。(資料1-1-2にて本日回答)
2	指摘 事項	炉心損傷に直結する事象として、制御建屋空調系喪失事象の選定の妥当性について整理すること。	H30.6.7	・従前、「制御建屋空調系喪失」は、事故シーケンスとして「事故の進展及び時間余裕」が他の事故シーケンスと異なるため、個別の事故シーケンスとして扱ってきたが、制御建屋空調系が故障した場合でも、温度上昇が比較的緩やかであり、時間的余裕がある等の理由により、起因事象から除外することとした。(資料1-1-2にて本日回答)